



だより



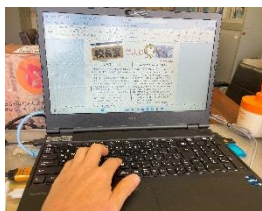
R7.4.9 Vol.1

2年目です…

昨年度から引き続きお世話になります校長の山本雅人です。相変わらず八幡浜市松柏から通っています。

さて2年目となりました。昨年度1年間過ごして、子供のこと、保護者の皆さんのこと、地域の皆さんのこと、少しずつ覚え、関わり、真穴という学校や地域のこと少しずつ分かってきました。昨年度も何度かお伝えしましたが、私たち教員にとって、とても働きやすい学校、地域であることをありがたく、そして頼もしく思っています。

皆さんの期待に応えることができるよう、今年もチームまあな一丸となって教育に勤しみたいと心新たにしております。今年も1年どうぞよろしくお願いいたします。



あいさつ！頑張らせます！

昨年度の「真穴の子供を育てる会」での話だったと思います。子供たちの様子を伺ったときに「朝はとってもよく挨拶ができていて感心するが、下校時とか、出会ったときとかの挨拶は少し物足りない。」そんなご意見をいただきました。ありがとうございます。

これは校内においてもみられる様子で、朝、靴箱前での挨拶はとても素晴らしいのですが、その場を外れるとすれ違ってもほぼ無言です。挨拶する場所として認識しているんでしょうね。挨拶とはそうではありません。場所でするのではなく、出会った人とするものです。おはようだけではなく、こんにちは、さようなら、ありがとうございます。etc.

時と場合に応じた挨拶を頑張らせます！給食車のドライバーの方に「今日も美味しかったです！」と挨拶できる真穴っ子です！挨拶八幡浜一、いや日本一を目指していきます。

四方山話真穴 ver2. 其の一(校長として…)

送別会だったでしょうか。「来年度も校長室便り、出されますよね？」そんな言葉を保護者の方からかけていただきました。「はい！もちろん頑張ります！」と調子のいい返事はしたものの、『おいおい！2年目も話題はあるのか？』そんな心の声が聞こえつつ…昨年度の便りのファイルをめくっていると、『もう言いたいこと、書きたいことそれなりに書いてるよなあ…』そんな声も聞こえてきて…。『できる？2年目も…』と葛藤すること数分…(たったそれだけか！笑)卒業式に子供たちに贈った言葉「できる、できないではない、やるか、やらないかである」そこに行きつきました。子供たちにこれから1年間、様々なことを頑張らせようとしているのに大人が頑張らない！そりゃなしですよ。

真穴小の桜も少し遅れて満開を迎えています。昨年度、小さい頃仲良くしていた同級生や、若い頃お世話になった先輩の先生や、ずっと懇意にしていた教え子を亡くしました。当然ですが、鬼籍に入ったこの方たちは今年の桜を見ることができません。自分はあと何回桜を見ることができるのだろうと思うとき、先のことなど誰にも分かりませんが、おそらく今まで見てきた桜の数ほどは見られない。もしかするとその半分くらいかも…そんな気がしています。(こう見えてデリケートなんです。自称！ガラスの貴公子…笑)校舎横の桜を眺めながら頭をよぎる思い、今を一生懸命に生きたい、子供と共に、自分のために、亡くなった大事な人たちのためにも。

昨年度の1号の便りに書いていた言葉「一生懸命は裏切らない」2年目の今年は自分自身にも送りたい言葉です。今年も校長として一生懸命頑張ります！(もちろん便りは週1で！…ほんとか？)

----- 切り取り線 -----

便りの感想や学校への要望等ありましたら、お聞かせください。今後の学校経営・運営に役立てていきたいと思っています。